

奈良県消防学校の機能強化に向けた基本方針（抜粋） 令和7年10月公表

- ① 消防活動の高度化、災害の多様化に対応した実践的訓練環境の充実
- ② 効果的、効率的な教育環境の確保
- ③ プライバシーや自主学習に配慮した寮生活の提供
- ④ **県民に開かれた学校づくり** ・消防学校の見学会、消防救急活動の体験会を通じ、県民の防火・防災意識を高める機会を創出
- ⑤ 南部中核拠点として、広域防災拠点と消防学校の一体活用

「県民に開かれた学校づくり」の考え方（案）

南部中核拠点と共に、自主防災組織の研修、児童や生徒等への防火・防災教育の拠点とする

- 子供から大人までが火災や自然災害の怖さを感じ、防火・防災について学ぶことができる施設とする
- 県民が訪れたいくなるような消防学校とし、消防職員、消防団員の裾野の拡大や消防活動に対する県民への理解促進に繋げる
- **新しく整備する消防学校の施設や人的資源を県民体験に有効活用**する

想定される県民体験メニュー案

- 新たに整備する訓練施設を活用した県民体験
 - ・ 実火災訓練施設を活用した熱体験
 - ・ 排煙迷路訓練施設を活用した避難体験
- 南部中核拠点、消防学校の資機材等を活用した県民体験
 - ・ ヘリパッド、支援物資保管庫の見学
 - ・ 消防救急車両の見学
- 消防職員の協力による県民体験
 - ・ 消火・救助活動訓練の見学
 - ・ 消防職員による心肺蘇生等の救急救命講習

■ 県民体験メニュー案のイメージ



模擬消火訓練装置（AFT）
を活用した熱体験



排煙迷路訓練施設を
活用した避難体験



消防車両見学



救助活動訓練